



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

さすが6年生！リーダーとしての すてきな姿を紹介します。

先日、新たな清掃班の顔合わせがあり、6年生の班長さんが中心となり、自己紹介や役割分担をしていました。話し合いを手際よく進める姿に頼もしさを感じました。また、集団登校でも、後ろを振り返りながら下級生を連れてきたり、横断歩道で横断旗を掲げて下級生を渡らせたりしている様子が見られ、リーダーとしての素敵な姿に感心しています。



学校や家庭が、子どもにとって安心できる場所になるために

今年度の学校経営・運営ビジョンに、子どもの自己決定を促す指導として、下記の3つの言葉かけを新たに加えました。問題行動やトラブルが起きた時、この言葉かけをすることで安心して課題解決に向かうことができるようにしていきたいと考えています。

この3つの言葉は、子どもの安心できる環境をつくり、ストレスに強い脳をつくる魔法の言葉です。ぜひご家庭でも、必要に応じて言葉かけをよろしくお願いいたします。

<子どもに自己決定促す「3つの言葉かけ」>

1 「どうしたの？」

→ おかれている状態を言葉にする。自分の内面に意識を向ける訓練。

2 「どうしたいの？」

→ 意思の確認。課題を解決するための方法を考えさせるきっかけをつくる。

3 「先生（父さん・母さん・じいちゃん・ばあちゃん）に何かできることある？」

→ 課題解決の手助け。先生（父さん・母さん・じいちゃん・ばあちゃん）は見方だよ。

ちょっといい話

1年生のトイレの前を通りかかったときに、撮った写真です。脱いだ靴が、邪魔にならない場所にきちんと揃えて置いてあり、とてもすがすがしい気持ちになりました。靴が真新しかったので1年生だと思います。学校でも指導していますが、家庭でのしつけや幼稚園での指導がつながっているのではと感じています。

